



5. 結果

試験結果を表 1 に示す。

表 1 各試料における窒素酸化物濃度[ppm]の経時変化

| | 供給濃度 | 直後 | 2 h | 4 h | 24 h |
|---|------|-----|-----|-----|------|
| ①  eco FRESH (LIQUID) | 600 | 330 | 100 | 30 | 0 |
| ②  eco FRESH (GEL) | 600 | 570 | 400 | 350 | 280 |

以下余白

5 試験結果(表-3及び4)

除去後1時間にすべての適用部位で非常に軽度な紅斑(点数1)が見られたが、24時間に消失し、その後刺激反応は見られなかった。

採点結果から算出したP.I.I.は、0.3となった。

6 評 価

検体について、OECD Guidelines for the Testing of Chemicals 404(1992)に準拠し、ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験を行った。

その結果、除去後1時間に全例で非常に軽度な紅斑が見られたが、24時間に消失した。

Federal Register(1972)に準拠して求めた一次刺激性インデックス(P.I.I.)は0.3となり、ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験において、検体は「無刺激性」の範疇に入るものと評価された。

7 参考文献

- Federal Register(§ 191, December, 1972).
- ISO 10993-10 Biological Evaluation of Medical Devices-Part 10: Tests for irritation and delayed-type hypersensitivity 6.3 Animal skin irritation test (2002).